

平成25年度 まちづくり活動助成団体紹介

まちづくり基金によるまちづくり活動助成を受けた団体を紹介します。平成25年度の「地域“魅力”アップ部門」から1団体、また「まち“夢”工事部門（二次選考）」から3団体、についてご紹介します。

地域“魅力”アップ部門

あつた産業再発見マイスターの会

熱田区生涯学習センターの「産業マイスター講座」から生まれた団体です。名古屋市熱田区内ゆかりの食材を使った新しいご当地グルメ「あつた餃子」「あつた鶏飯」の考案・開発・普及活動に取り組んでいます。

「あつた餃子」は試行錯誤のうえに出来上がった、朱色の名古屋かまぼこ入りの肉なし、ニンニクなしの餃子で、白鳥庭園や名古屋祭りなど地元の催事に出店することで熱田のご当地グルメとして知られるようになってきました。

また、新たに宮宿で食されていた唐きび（とうもろこし）を使った「あつた鶏飯」も完成しPRに努めています。

今後は催事出店だけでなく、あつたの食文化再発見に取り組むと考えています。



白鳥庭園催事出店の様子



お問合せ先 | 山田 さつき e-mail y-may@mre.biglobe.ne.jp

まち“夢”工事部門（二次選考）

長者町アートアニュアル実行委員会

「あいちトリエンナーレ2010」終了直後、継続的なアートまちづくりを推進するために有志で結成された任意団体です。

これまではイベント開催を中心に行っていましたが、それらに加え長者町界隈で活動を行いたい若手作家や関連する団体に対し、制作場所やレジデンス、ミーティングやイベントスペースを提供する拠点づくりも始めています。

「長者町スタジオ」「長者町アーティストインレジデンス」「長者町プラットフォーム」の3つの拠点のための案内・看板の整備、「長者町ベンチ」の製作・設置など、まち全体で共有できる場の整備もすすめています。



案内看板の設置



「長者町ベンチ」

お問合せ先 | 古谷 萌子 e-mail choja.art.an@gmail.com

まち“夢”工事部門（二次選考）

てんぱくプレーパークの会

てんぱくプレーパークは、天白公園の冒険の山の一角にあり、子どもの「やってみよう」という気持ちを大切にしたい誰もが利用できる遊び場です。子どもの立場に立つ大人「プレーリーダー」が常駐し、安全に配慮しながら子どもを見守ります。子どもたちは、工作、火おこし&べっこう飴作りを始め、天白公園の自然の中で思い思いのことをして過ごす遊び場づくりをしています。

今回のまちづくり活動助成では、不審火によって焼失した小屋・物置に代わる新しい小屋づくりをしました。

自分たちで小屋のアイデアを出し合い、建築にもできる範囲で参加しました。完成した小屋の名前にもそれぞれが思いを込め、プレーパークとハウス（家）を掛け合わせた「プレーハウス」に決定しました。



基礎工事に参加した際の様子



小屋の完成を祝う竣工式の様子

お問合せ先 | 沢井 史恵 e-mail hiropuku@ktd.biglobe.ne.jp

まち“夢”工事部門（二次選考）

鳴子きずなの会

「鳴子きずなの会」は、地域住民同士の豊かな「絆」を深めて、お互いに支え合い・助け合い、誰もが自分らしく、安心して暮らし続けられる鳴子学区を育むことを目指して多彩な活動をしています。

今回のまちづくり活動助成では、鳴子きずなの花咲か事業～対話を育む“みんなのお庭”づくり～と題して、鳴子池歩道沿い花壇の新設と鳴子コミュニティセンター玄関前に花植えマスの新設及び同センターの脇に2ヶ所、花苗（養生）ハウスを建設しました。

鳴子地域を花いっぱいにすることで地域一帯の風景の色合いと豊かな潤いをもたせ、種から花を育てる事はひとつづくり・輪づくりの促進と考え地域住民の絆を深めることを目指しています。



鳴子池歩道沿いの花壇の様子



花苗ハウスの完成を祝う竣工式の様子

お問合せ先 | 半田 鏡司 e-mail yrsbk743@ybb.ne.jp